



ゆとりを持って、早めの準備 大切な人を守るための

避難のタイミング



台風や大雨は、事前の準備でリスクを減らせます。横須賀の地形に合わせた避難のポイントを知り、安全に過ごすための計画を立てましょう。

Phase 1

風水害が来る前の備え 自分のリスクを知る

台風や豪雨が近づく前に、土砂災害ハザードマップなどで、まずは自宅周辺のリスクを確認しましょう。横須賀は地形が複雑なため、わずかな距離の差でリスクが変わります。



各種ハザードマップは、市役所や各行政センターなどで配布しています。

自宅が「土砂災害警戒区域(崖ぞいなど)」や「浸水想定区域(低地・沿岸部)」に含まれていないか、事前にチェックしましょう。

ハザードマップは地区ごとに分かれています。お住まいの地域のマップをご確認ください。

自宅に該当するリスク

- ☐ 土砂
- ☐ 洪水
- ☐ 津波
- ☐ 高潮
- ☐ 内水

各種ハザードマップ情報



Phase 2

情報をキャッチ 避難を決める 警戒レベル

気象庁の情報をもとに、横須賀市から避難情報を発令します。自宅や周囲の状況に応じて、落ち着いて判断しましょう。

◆ 警戒レベル3(高齢者等避難)

高齢者や避難に時間がかかる人は、避難開始。その他の人も避難準備。

◆ 警戒レベル4(避難指示)

危険な場所(崖の近く、浸水域)から速やかに離れる。

◆ 警戒レベル5(緊急安全確保)

命の危険。避難所へ行くことがかえって危険な場合、その場で最善を尽くす。

／ 平時からチェック ／



避難指示などの対象地域の確認方法

警戒レベル	避難情報など
5	緊急安全確保
~~~~~ 警戒レベル4 までに必ず避難 ~~~~~	
4	避難指示
3	高齢者等避難
市が発令	

## Phase 3

### とどまる? 避難する?

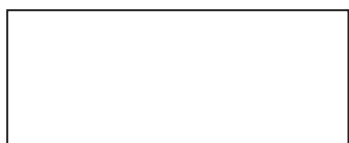


この標識が目印



風水害時避難所一覧

近くの避難所



安全が確保できる場合には、まずは自宅にとどまりましょう。避難所へ行くことだけが避難ではありません。

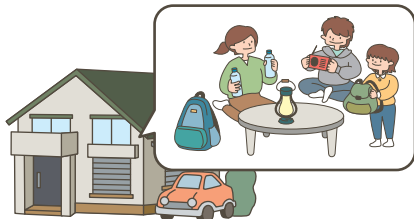
#### 自宅で安全確保(垂直避難)

外がすでに冠水している、夜間で移動が危険などの場合は「建物の2階以上」や「崖から最も離れた部屋」へ移動し、身の安全を確保。

#### 自宅で安全が確保できない場合

#### 立ち退き避難(水平避難)

市が開設する避難所、安全な場所にある親戚・知人宅などへ移動



### ワンポイント 避難時の服装

#### ヘルメット

飛来物から頭を守ります。

#### 長袖・長ズボン

肌の露出を減らし、けがを防ぎます。

#### レインコート

傘は片手がふさがり、風にあおられるため危険です。

#### 傘は「杖」として活用

足元の安全(浸水で見えないマンホールや溝)を確認するための道具として使います。

#### スニーカー

長靴は厳禁! 水が入ると重くて歩けなくなり、転倒の原因になります。履き慣れたひも靴を選びましょう。

